

地域 DMO による二次交通整備事業「しまばらめぐりんチケット」の取り組み

<POINT>

- ・観光ガイドブック一体型の鉄道（平日版）、バス（土日祝版）のフリー乗車券
- ・地域 DMO「株式会社島原観光ビューロー」主体で行う二次交通整備事業
- ・総合的な観光地域づくりの視点での企画・運営と利用者データの活用

<地域の概況>

従来の島原市内では、観光施設・プロモーション・イベント等の運営・実施者が、島原市、および、①島原温泉観光協会、②島原温泉旅館組合、③島原市観光土産品協会、④一般財団法人島原城振興協会と多岐に渡っており、市の観光全体をマネジメントする組織がない状態であった。そうした状況から、市内の観光施設を有効活用して島原のブランド力を高め、観光を推進する体制を一層強化することを目指して、2016年9月13日に①～④の組織を統合した株式会社島原観光ビューローが設立された。株式会社としては、島原市からの出資が4,000万円、島原市民223名および市内外の企業・個人からの出資が2,000万円という資本で成り立っている。

島原エリアへの主なアクセス方法は、島原港と熊本港（熊本県熊本市）・三池港（福岡県大牟田市）を結ぶフェリーを利用するか、島原鉄道を利用するルートとなる。長崎空港からのバスも運行されているが、島原エリアへの誘客やエリア内での周遊促進には、二次交通の整備が課題となっていた。

<しまばらめぐりんチケットの概要>

【チケットの内容】

- ・平日版：島原鉄道（島原駅～島原外港駅区間）1日フリー乗車券
- ・土日祝版：「しまばらめぐりんバス」1日フリー乗車券
- ・島原城（540円分）、湧水庭園「四明荘」（300円分）の1日フリー入館券

【特典・サービス】

- ・四明荘ラベル湧水ペットボトル（150円相当）
- ・島原染物オリジナルミニてんげ（324円相当）
- ・商店街等の掲載店舗での各種特典、割引サービス
- ・指定駐車場3ヶ所（島原城、島原駅、ゆとろぎの湯）の「トクトク駐車券」

(別途 500 円にて購入可能)

- ・アンケートにご協力頂いた方の中から抽選で毎月 1 名様に島原のお土産 (10,000 円相当) をプレゼント
- ・観光施設への入館や店舗での商品購入でスタンプを集めるとオリジナル缶バッジがもらえるスタンプラリー

【販売価格】

- ・大人 1,000 円、小人 (小学~高校) 500 円、未就学児無料

【販売場所】

- ・島原港観光案内所、島原駅観光案内所、島原城天守閣チケット売場、観光交流センター「清流亭」の 4 箇所

【公式サイト】

<https://www.shimabaraonsen.com/guide/archives/59>

しまばらめぐりんバスは、①島原港→②銀水前→③島原駅前→④大手→⑤島原城→⑥桜馬場→⑦七万石坂→⑧鯉の泳ぐまち清流亭前→⑨白土の 9 つのバス停を巡る周遊バスで、島原港や島原駅といった交通拠点と主要観光施設等を結ぶ。土日祝のみ 1 日 7 便、1 周約 40 分のルートで運行されている。9 時~16 時の間 (13 時台を除く) で、1 時間に 1 便運行されているため、バスと徒歩での移動を自由に組み合わせながら、島原エリアをじっくりと観光して周ることができる。

チケットは冊子型のガイドブックになっており、9 つのバス停を起点とした観光コースがそれぞれ写真やイラストマップで表現されている。「~暮らすような旅をする~島原ジモティーの旅」がコンセプトとなっているため、観光施設だけでなく、地元視点ならではの細かい見どころや商店街などの店舗も紹介されており、観光客にとっては地域の雰囲気を楽しめることも魅力的な内容である。チケットとガイドブックが一体化されているため、冊子一つでバス・鉄道への乗降と観光ルートの確認ができる点は、特に個人旅行客には利便性が高いように思われる。

さらに、指定駐車場 3 ヶ所 (島原城、島原駅、ゆとろぎの湯) の「トクトク駐車券」を別途 500 円で購入可能という特典も用意されており、車で訪れた観光客に対してもエリア内の周遊にはバスを利用してもらえるような取り組みとなっている。



図1：平日版 島原鉄道（島原駅～島原外港駅区間）1日フリー乗車券



図2：土日祝版 「しまばらめぐりんバス」1日フリー乗車券

好評発売中!

～暮らすような旅をする～
島原ジモティーの旅♪

しまばらめぐりんチケット

めぐりんチケット 8大特典!!

- 1 島鉄(指定区間) 乗り放題!**
平日島原鉄道の指定区間 乗り放題
- 2 めぐりんバス 乗り放題!**
土日祝、「しまばらめぐりんバス」 乗り放題
- 3 入館フリー!**
島原城(540円)& 四明荘(300円) 1日入館フリー!
- 4 清泉水ペットボトル**
島原清泉水ペットボトル(150円) 付き
- 5 ミニマムズ**
島原染物オリジナルミニマムズ(324円) 付き
- 6 お得なお買い物!**
商店街 & 外港売店で お得なお買い物
- 7 マイカーにお得!**
マイカーにお得な「トクワ駐車券」が買えます!
(指定駐車場3カ所込み 別途500円)
- 8 抽選で当たる!**
アンケートに答えると、毎月抽選で1名様に島原名産品10,000円相当が当たります!

図5：しまばらめぐりんチケット特典

しまばらめぐりんバス タイムスケジュール

	1便目	2便目	3便目	4便目	5便目	6便目	7便目
1 島原港	9:00	10:00	11:00	12:00	14:00	15:00	16:00
2 銀水前	9:05	10:05	11:05	12:05	14:05	15:05	16:05
3 島原駅前	9:12	10:12	11:12	12:12	14:12	15:12	16:12
4 大手	9:14	10:14	11:14	12:14	14:14	15:14	16:14
6分程停車							
5 島原城	着9:18 発9:24	10:18 10:24	11:18 11:24	12:18 12:24	14:18 14:24	15:18 15:24	16:18 16:24
6 桜馬場	9:26	10:26	11:26	12:26	14:26	15:26	16:26
7 七万石坂	9:27	10:27	11:27	12:27	14:27	15:27	16:27
8 鯉の泳ぐ可清流亭前	9:32	10:32	11:32	12:32	14:32	15:32	16:32
9 白土	9:35	10:35	11:35	12:35	14:35	15:35	16:35
1 島原港	9:42	10:42	11:42	12:42	14:42	15:42	16:42

図6：しまばらめぐりんバス時刻表



図7：島原城バス停 表示 (表面)



図8：島原城バス停 表示 (裏面)



図 9：島原駅観光案内所（全体）



図 10：島原駅観光案内所（チケット案内）



図 11：島原港観光案内所



図 12：しまばらめぐりんバス車両

また、しまばらめぐりんチケットがなくても、通常運賃を支払えば路線バスとして利用することができるため、観光客だけでなく地元ユーザーの休日の移動手段としても活用されている。このように、土日祝限定の路線バスという認可・運行方法を取ることで、貸切バスを所有・運行する場合などと比べれば、費用が抑えられるよう工夫がされている。

＜しまばらめぐりんチケットの利用状況＞

2017年11月から2018年5月までを第一期、2018年7月から2019年2月までを第二期として実証実験が行われている段階である。第一期の利用者数は合計2,176人、1日あたり9.1人の販売数であった。

4箇所の販売場所のうち、最も販売数が多いのは島原城天守閣チケット売場であり、次いで、島原港観光案内所、島原駅観光案内所、清流亭の順となっている。なお、清流亭は販売数に対して、利用者アンケートの投函枚数が2倍程度となっているため、めぐりんチケットが周遊効果を発揮していることがうかがえる。

利用者アンケートの回収率は4割程度。回答を数値化・分析することによって、より利用者の要望に応える内容への改善が行われており、現在のチケットはすでに第3版目となっている。

利用者の属性分析によると、女性：男性=6：4で、やや女性の利用者の方が多い。年代は、50代・60代が20%程度、それ以外は10%前後となっている。また、参加人数の1位が2人（46%）、2位が1人（24%）となっており、1～2人という少人数での参加が全体の7割を占めているが、これは、参加形態の1位が夫婦旅（24%）、2位が一人旅（21%）であることに関連していると考えられる。また、旅行目的は、1位がぶらり旅（46%）、2位が癒し旅（27%）となっている。

こうしたデータの分析からは、島原エリアがターゲットとする観光客層や課題もみえてくるため、交通事業者や行政のみではなく、DMO・DMCの機能を持つ観光ビューローが主体となって二次交通整備に取り組むことは、観光地域づくりにとって重要な意味や効果を持つと考えられる。

<今後の課題と対処方法>

しまばらめぐりんチケットを知った媒体は、1位が案内所（65.9%）、2位がパンフレット・チラシ（13%）、3位がWEB・HP（13.4%）、4位が紹介（7.6%）となっており、ほとんどが現地に入ってから知ることが多くなっている。今後は、事前に情報を知ってもらうことで、島原エリアへ訪問するきっかけ作りや販売数の増加へと繋げていくため、SNS等での情報発信も行っていく必要がある。

株式会社島原観光ビューローでは、しまばらめぐりんチケットによる二次交通の整備以外にも、島原城などの観光施設の安全対策、インバウンド観光客向けの、街中Free Wi-Fiや多言語案内板の整備、夜の観光コンテンツ（島原城を活用した体験型イベント）などといった、島原の観光地としてのさらなる改善・整備事業に取り組んでいる。これらの事業は開始当初、自費による先行投資で実施されていたが、一部の事業については、長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金による支援を受けることとなった。しまばらめぐりんチケットの実証実験を含め、支援の期限内に目標を達成できるよう事業を進めていく予定とのことである。

<まとめ>

しまばらめぐりんチケットは、地元ならではの魅力を体験できる観光コンテンツによっ

て、癒やしを求める旅行者の潜在的な需要を喚起できる可能性を持っている。また、周遊によって地元商店街などの地域全体へ経済波及効果が見込まれるスキームとなっていることも特長のひとつである。

二次交通は観光地を巡るための重要な手段である一方、維持していくための採算を取るのが難しいことも多い。また、整備にあたっては先行投資が必要な部分も多く、地域によっては行政や観光・交通関連事業者それぞれとの調整にハードルがある状況も考えられる。しかし、個人旅行の需要が増加していく中では、観光地と交通手段を上手く結びつけた観光コンテンツがあれば、そのエリアが旅行先に“選ばれる”きっかけになる可能性も高いと言えるだろう。

このように、二次交通による周遊自体が旅の目的にもなるような魅力ある商品づくりのためには、地域 DMO が、行政や関連事業者などの協力を得ながら、『観光地域づくり』という総合的な視点から企画・運営していくことが重要となるのではないだろうか。

株式会社島原観光ビューローでは、地域 DMO としての機能を真に発揮し、島原エリアの経済を活性化していくためも、指定管理料や補助金に頼らない自走実現を目指している。島原市の観光インフラ化と自社での収益事業化を目指した活動は、他の地域 DMO 等でも参考になる事例と言えるだろう。

(取材：2018 年 11 月)